

脈々 高蔵 魂 スピリッツ

(創立者 市邨芳樹のことば)

「天職を楽しむ」

子どもが泣けば、泣き声でその心を察し、病気となれば自分が代わりたいたと自ずと思う。親になれば、自分の好物でも食べずに子どもに食べさせたいという思いが湧き、子どもの喜ぶ顔を見て喜び、悲しむ顔を見て悲しむようになる。

教えられて身に付けたことでもなく、考えてしていることでもない。自分の全てを擲なげうっているが、苦勞とは思わない。

犠牲的精神は愛より発する。

おのが身はかへりみずして人のため尽くす
ぞ人の務つとめなりける。 (「藪椿」11-5)